

平成25年度 入学式

4月9日、春のうららかな陽気のなか、真新しい制服に身を包んだ264名の新入生を迎え、入学式が挙行されました。

新入生の保護者の皆様をはじめ、多くの方々に見守られ、式は厳かに執り行われました。新入生代表の誓いの言葉に、新入生はもとより列席した本校職員も身の引き締まる思いになりました。

宣誓(抜粋)

創立110年という伝統ある熊本中央高等学校に入学できますことを、心より嬉しく思います。私は将来、人々の健康を支え、みんなを笑顔にしたいと考え、看護師を目指そうと決めました。昨年の夏、体験入学に参加し、看護科で学びたいという気持ちが強くなり、本校への入学を日々夢みて、努力を重ねてまいりました。合格通知を見た時の喜びは今でも忘れられません。

入学後は、「良妻賢母」「高志躬行」の校訓のもと、学業に、スポーツに、文武両道を目指し、日々努力すると同時に、生涯を通しての友にもめぐり逢いたいと思っております。

高校の授業では、教科ごとの内容が深くなるとお聞きしました。また、看護科の5年という長い学びの時間の中で、沢山の困難に直面することと思いますが、それらに負けないように立ち向かい私らしく頑張ります。

新入生代表 前田百華(東部中)



高校総体・総文祭

女子ソフトテニス

団体戦 3位 2年徳成爽佳(水保第一) 2年吉岡純奈(八代第四)
2年石田美咲(稜南) 2年中村美帆(熊本西原)
2年堀口里菜(天草) 2年吉永聖良(中央)
2年有瀬萌美(武蔵ヶ丘) 3年鶴林由菜(北部)

個人戦 5位 2年徳成爽佳(水保第一) 2年吉岡純奈(八代第四)

バドミントン

女子 団体戦 優勝 3年米田穂花(力合) 3年北村花帆(力合)
3年松枝紗妃(花陵) 3年板橋由依(白川)
2年朝岡依純(玉陵) 2年宅島あや子(玉東)
2年川野愛華(八代第二)

ダブルス 優勝 2年川野愛華(八代第二) 2年宅島あや子(玉東)

準優勝 3年米田穂花(力合) 2年朝岡依純(玉陵)

シングルス 優勝 2年朝岡依純(玉陵) **ベスト8** 3年前田華蓮(菊池南)

男子 団体戦 ベスト8 3年酒井政和(日吉) 3年五藤祐介(楠) 3年下大迫将喬(京陵)
3年太田裕次郎(訶麻) 3年下田知幸(高森東)
2年岡崎一真(訶麻) 2年池部雅史(合志)

シングルス ベスト16 3年五藤祐介(楠)

陸上

男子 100m 2位 3年赤池祐二(人吉第一)

400m 3位 3年服部慎吾(鹿本)

110mハードル 優勝 3年赤池祐二(人吉第一)

5000m競歩 優勝 2年大串義宣(藤園)

2位 2年境慎太郎(甲佐) **3位** 3年酒井駿(豊栄)

棒高跳 2位 1年平山聖高(西合志)

三段跳 2位 3年服部慎吾(鹿本)

女子 100m 6位 3年片川瑞貴(下益城城南)

400m 6位 3年増田千奈(熊本西原)

100mハードル 3位 3年吉永千穂(玉名)

5000m競歩 優勝 2年石橋奈津美(小国)

4×100mリレー 4位

2年佐藤杏奈(大津) 3年片川瑞貴(下益城城南)

1年宮本みずき(下益城城南) 3年増田千奈(熊本西原)

4×400mリレー 5位

2年大坪京加(人吉第二) 3年増田千奈(熊本西原)

2年佐藤杏奈(大津) 3年片川瑞貴(下益城城南)

走幅跳 5位 3年河口美憂(長洲)



表彰台独占！創部23年初の快挙

柔道

48kg級 3位 3年田口鈴鹿(西合志南)

63kg級 3位 2年甲斐春梨(桜木)

バスケットボール 3回戦進出

♪吹奏楽部・バトン部…市内パレード出場

♪書道部・美術部…作品展示 ♪茶道部…お点前披露

♪バトン部・コーラス部…ステージ発表



介護職員初任者研修について

(1) ホームヘルパー2級から介護職員初任者研修へ

平成24年度まで「ホームヘルパー2級」という資格研修がありました。資格制度の簡素化と介護職の専門性向上という視点から新たな資格研修として『介護職員初任者研修』が始まりました。

ホームヘルパー2級の資格は、「高齢者の自宅へ訪問し介護する在宅介護を中心とした資格」として、『介護職員初任者研修』では、在宅介護に限らず施設における介護技術も学ぶので、「在宅でも施設でも対応できる基礎的な介護を修得する資格研修」となります。

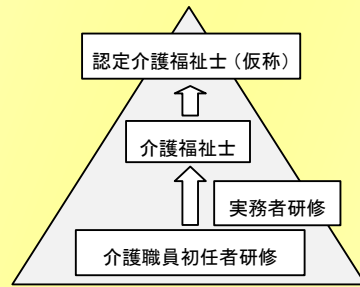
本校では、これまでホームヘルパー2級と1級の資格研修を実施してきましたが、本年度からは介護職員初任者研修を実施していきます。

(2) 介護職員初任者研修を取得するメリット

これまで、介護の現場では無資格で入り、仕事をしながら資格を取得することが目立ち、職員の質の低下が問題視されてきました。そこで、今後は施設介護および在宅介護でも通用する介護職員初任者研修を取得することを最低限の基準にしていこうという見方がありますので、高校卒業後に介護の現場で働きたいと考えている人は必ず取得してしまい資格です。

また、国家資格である介護福祉士を目指すには、様々な方法がありますが、その中でも「実務経験ルート」で介護福祉士の資格取得は、「実務経験3年」+「450時間の実務者研修」をこなした上で国家試験に臨むことになります。

ここで、介護職員初任者研修を取得していると、実務者研修の時間数が450時間から130時間免除した『320時間』になるということです。要するに、高校在学中に介護職員初任者研修を取得していると、介護福祉士の受験資格を少しでも早く得られるところにメリットがあります。



(3) カリキュラムについて

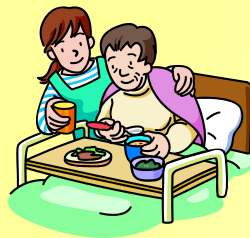
科目	内容と理解する事	時間数
1	仕事の理解 ・介護の仕事内容を理解し、働く現場を理解する。	6時間
2	介護における自立支援 ・自立とは何なのかを理解する。そして、介護における自立を考え理解する。	9時間
3	介護の基本 ・介護をする上での「心がけ」を理解する。	6時間
4	介護サービスの理解と医療との連携 ・介護保険制度を理解し、医療との連携とリハビリテーションについても理解する。	9時間
5	介護におけるコミュニケーション技術 ・利用者の方とのコミュニケーションの取り方や介護職員同士のコミュニケーションの取り方を学び、理解する。	6時間
6	老化の理解 ・老化していくことで変化する「心」と「体」を理解する。	6時間
7	認知症の理解 ・認知症を理解し、認知症を抱える人への支援の方法とその家族への支援の方法を理解する。	6時間
8	障がい者の理解 ・障がい者の考え方を理解し、その支援について理解する。	3時間
9	基本的な介護の技術 ・基本的な介護の技術を学ぶ。 ※食事介助や入浴介助、車いす介助など	75時間
10	振り返り ・研修全体を振り返る。	4時間

(4) 施設実習について

施設実習は、「デイサービス実習の4日間」と「施設実習の4日間」の計8日間となります。※施設実習はカリキュラムの中に含まれていませんが、やはり介護現場の中身を知ることが必要不可欠であるという思いから8日間の実習を学校独自で実施します。

(5) その他 ～施設実習を経験した生徒の感想～

・実習を通して、相手の気持ちを考える事の大切さを学びました。利用者の中には、言葉で自分の意思を伝えられない方もいらっしゃるの、相手の気持ちを考えられる人になりたいです。
・食事介助を、朝食、昼食、夕食の2日間おこないました。飲み込んだことを確認して、次の食事を口の中に入れるタイミングなど、2日間で大いぶん分かるようになりました。
・実習を通して、自分の意見を持つことは大事だと思いました。学んだことをそのままにせず、その時、その場に応じた考えを持つことは大切だと思ったからです。
・あいさつは社会に出るためにも大切であり、あいさつから第一印象や自分の性格を判断されてしまうので、これからも施設で学んだあいさつを活かしていきたいです。



このように、授業で学んだことを現場で実践することが施設実習ですが、生徒たちの感想を聴くと「相手の気持ちを考えること」や「あいさつの大切さを学んだ」など2年後に社会に出るために必要となる社会人としてのマナーも学んでいます。施設実習において、利用者の方や職員の方など幅広い年齢層と接し、そこで良好な関係をつくるのが、社会に出た時にプラスに作用していくことも介護職員初任者研修を取得するメリットでもあります。

福祉担当教諭 古川頭二

7月26日(金) 体験入学 9:00~12:00 (受付 8:30~)

☆ たくさんのご参加をお待ちしています!! ☆

学校法人 加壽美学園 熊本中央高等学校 熊本市中央区内坪井町4-8
TEL096-354-2333 [http:// kasumigakuen.jp](http://kasumigakuen.jp)